

令和7年度第2回葛飾区環境審議会 議事録要旨

【日時】 令和8年3月13日（金） 午前10時00分～午後12時00分

【会場】 かつしかエコライフプラザ2階 研修室

【出席委員】 崎田委員、藤野委員、矢後委員、竹内委員、赤澤委員、沢崎委員、下井委員、
関根委員、田中委員、鳥山委員、武者委員、関委員、大川原委員

【欠席委員】 島田委員、菅原委員、湊委員、池上委員、大友委員

【事務局】 木下環境部長、山岸環境課長、新谷みどりと花のフェア担当課長、柿澤リサイクル
清掃課長、久保清掃事務所長、長谷川、村上、上田、佐藤

【次第】

1 開会

2 議事

(1) かつしかエコ助成金の拡充及び見直しについて

(2) 地域間連携による森林整備事業等について

(3) 全国みどりと花のフェアかつしかについて

(4) 「葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第4次）」改定版（案）について

3 閉会

発言者	審議内容
<p>会長</p>	<p><u>1 開会</u></p> <p>地元の皆さんは5月開催の全国みどりと花のフェアかつしかの準備や打合せなど忙しくしておられると思います。子どもの時に自然環境に親しんだお子さんは大きくなると自然環境だけではなく環境全体への関心がとても高まるというのは研究の成果として明確に出ていると最近言われています。そういう意味でもこういう機会を地域全体でうまく共有していただくと、温暖化対策や循環型社会、自然共生など全ての分野で皆さんの関心がどんどん高まる、そういうお子さんもどんどん成長するという素晴らしい循環が生まれるのではないかと思いますので、お忙しいと思いますが乗り切って、楽しくできればと思いますのでよろしく願いいたします。</p> <p>それでは事務局の方から、議題の前に連絡事項があると思いますので願います。</p>
<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>(委員の出欠の報告、資料の確認を行った。)</p> <p>事務局からの連絡事項は以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは始めていきたいと思います。今日の進め方ですが、いくつか議題が出ていますが1つずつ説明いただき、ご意見いただくという形にしていければと思います。それでは事務局の方から資料1「かつしかエコ助成金の拡充及び見直しについて」のご説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (環境課長)</p>	<p><u>2 議事</u></p> <p><u>議事（1）かつしかエコ助成金の拡充及び見直しについて</u></p> <p>(資料1に基づき、説明した。)</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。今回の改正案で微妙に減っているのがありますが、逆に環境性能が良い場合にはアップするなど、環境寄りにインセンティブはつけるけれども定着しているものについては減額するなど、環境的な方向にうまく舵を切ろうとしているというような金額の設定かと思います。</p> <p>ご意見がある方はおっしゃっていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>太陽光はだいぶ価格が下がってきているところもあると思いますので、単価あたりは下げてHEMSを入れると併設加算で増やすというのはHEMSを入れるきっかけになるのでいいのかなと思いました。電気自動車は廃止ということですが、ここ最近どれくらい応募があったのでしょうか。ここ2～3年で何件くらいあったので廃止という判断をされたのかお聞きできればと思います。</p>

事務局 (環境課長)	昨年度は助成件数で申し上げますと 238 件でした。令和 4 年度から 7 年度までのトータルは 1,131 台でございます。
委員	都も今回増やしているのでしょうか。来年度に向けて。
事務局 (環境課長)	東京都は従来通りかと思います。
委員	1つのインセンティブになっていたかもしれないので、どちらの判断がよかったのかは私もわからない。
事務局 (環境部長)	最新の情報ですと、国の C E V が国産を中心にかなり上乘せすると聞いていますし、おそらく葛飾区が助成していた分以上に上乘せがかかると聞いています。一方で海外の車はやはり抑えられている傾向があるようにみえています。
委員	去年の件数が 238 件ということですが多くないですよ。決して伸びていないので、ホンダが電気自動車をセーブする方向に舵切ってしまったのは売れてないからだと思うのですけれども、やっぱり助成する方向に進んだ方がいいのかなという気がします。それから太陽光発電に関しても、伸びてはいるけれども頭打ちになっている感じですので、新築は義務化されるという話ですが実際にどんどん増えているかというところでもなさそうな感じがします。もうちょっと今のまま補助金を続けていただけた方がいいのかなという気がしています。
事務局 (環境課長)	電気自動車については大体横ばいで推移していきまして、太陽光発電の方は右肩あがりでございます。数字としては 2 年前と比べると約 2.5 倍に増えています。その分申請件数が増えているのですが、おっしゃる通り助成がなるべく続けた方がいいとは思いますが、区の予算の構成上の話もあるので、その中でできる範囲で最大の効果を目指してエコ助成金を推進していきたいと考えております。
委員	口頭では説明してもらいましたが、減らす理由として、社会情勢を勘案してと資料に記載しているが、これくらいで済ませてしまうと説明不足かなと思います。
会長	皆さんの関心も高いということでできれば続けてほしいということですが、今回太陽光パネルは無しになるわけではなくて微妙に上限が下がるということで、ただし併設の場合には 1 万円を加算とか、より太陽光に関心を持っていただくとそれなりに優遇措置があるということで数字を設定してくれていると思いますので、今の話のようにきちんと多くの区民の方にこういうことが大事だよというメッセージをしっかりと出しながらその意味を伝えていただくように工夫していただければと思います。

委員	<p>助成金の話、たしかに実際の効果より、やって実例を挙げていく、行動変容を1つでも多く事例を示していく、非常に大事なことだと思っています。とくに事業者向けの太陽光発電システムの設置に関して、いくつか情報があります。基本的に自社の陸屋根部分は発電適所であるという評価で話を進めていこうとしたのですが、建屋の耐用年数とか建屋の加重の問題があって踏み切れないという例がいくつかこの1年の中で聞いております。ただ都なども積極的に助成はしているのですが、設置にあたって施設の補強をする工事費用に関してはやはりまだ対象外であるという話になって見送ったという例を聞いています。既にこの話は工業振興会議でも共有されていると聞いていますが、やはり1歩2歩踏み込んで施策を考える場合にはこういったところも目配りする必要があるのかなと思います。あと工業振興会議でも話題になったのですが、これまで新しい設備投資に対する助成補助がメインだったのですが、旧式の機械をどれだけ長持ちさせるか、メンテナンスとか修繕に関しても葛飾区は1歩踏み込んで助成の対象にしていこうという動きがあると聞いています。特に事業者向け、地域の産業振興という切り口でも考えられると思いますので、やはり老朽化した設備をいかに長持ちさせるかとか、これもまた建設廃棄物の排出抑制ということでエコにつながっていく話でもありますし、特に事業所に関してはこうした情勢の中でより一層他の部署との連携を図って施策を組み立てていただくと、環境ということでは予算的な制約があっても別の切り口だとそれなりに使えるお金が出てくるのかなと感じています。</p>
会長	<p>事業者さんのお話、とても重要な話だと思います。施設を入れるというところではかなり金額も必要で大変かと思いますが、修理とか補修とか、あるいは補強して強くして入れるとか、そういう+αのところも考えていただけないかというのはすごく大事なご意見だと思いますので、検討材料として受け止めていただければと思います。</p> <p>伺いながら思ったのですが、1つ1つのあるご自宅、ある会社、1つ1つの点で環境性能が良くなっていく、その後はだんだんそこに住んでいる方、そこで働く方の行動が変容されてきて、その地域全体の人たちの環境に関するマインドが高くなってきてライフスタイルが少しずつ変わっていくとか、やはり点の補助をすることは、面で、地域で自然にそういう動きが強くなっていくことを長い目では期待していると思いますので、そういうふうにならなったりしていくような部分も考えていただければいいのではないかと皆さんのご意見を伺いながら思いました。</p>
委員	<p>短く2点だけ。工夫してどんどん申請件数が増えているということで素晴らしいと思います。1点目は、できれば申請件数が増えているとともにどれだけCO₂削減効果があったのかも数値化できるとすごくわかりやすいかなと思いました。2点目は、電気自動車の廃止ですが葛飾区の直近の都市マスタープランでウォークアブルを打ち出しているのですが、ただ単に環境が整いつつあると言うよりは</p>

<p>会長</p>	<p>歩いていく街づくりに移行していくというようなプラス面で車よりは歩きましょうというトーンで書かれた方が廃止も納得が得られるし都市全体の政策とも合っているのではないかと思います。</p> <p>これまでやってきた件数の合計でどれくらいの効果が上がっているかというデータがあった方が、自分たちの暮らし方とか設備投資を変えていくところなのだというのがわかった方がいいかなと思います。</p> <p>みなさんありがとうございます。それでは資料2の地域間連携による森林整備事業等についてご説明をお願いします。</p> <p><u>議事（2）地域間連携による森林整備事業等について</u></p>
<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>(資料2に基づき、説明した。)</p>
<p>会長</p>	<p>森林が維持されていくということ自体もすごく大事ですし、都会暮らしだと最終的にみんなが省エネとか再エネを頑張っても社会からはCO₂が出続けているということを考えれば、森林の地域との交流、そして整備費用をお支払いしていくような、こういう交流は大変重要なところだと思いますので、ぜひ続けていただければと思います。みなさんからご意見などございましたらコメントをお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>こちらは森林環境譲与税の用途だと思いますが、例えば隣の足立区では区内の樹林地の健全性を高めるための屋敷林の剪定や伐採などにも森林環境譲与税を使っているのですが、そのような区内の樹林地の健全性を維持するために困っていたりすることはないのでしょうか。</p>
<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>森林環境譲与税の用途としましては、葛飾区の場合は小学校の木質化に充てておりまして、区内の樹林に対して森林環境譲与税を使ったということはありません。</p>
<p>委員</p>	<p>最近やはり高温化が進んで木の倒木問題が大きいかと思いますので、そういうところにも現場で困っていることがあれば活用して区内の樹林地の健全にというところで力を入れられるといいのかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>先ほど森林環境譲与税を小学校の木質化に使っているという話がありましたが、関連でそういう情報も入れていただくと全体像が見えてくるかなという気がします。</p> <p>交流事業がたくさんありますが、こういう交流事業に参加するお子さんとご家族など、すごく大事な交流だと思いますのでぜひ続けていただきたいです。あ</p>

<p>事務局 (みどりと花のフェア担当課長)</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>会長</p> <p>委員</p>	<p>と活用事業としてシャープペンやメッセージボードなど間伐材をたくさん使わなくても作れそうなものが多いのですが、もう少し間伐材をちゃんと使う、例えば少し大きなブロックの積み木みたいなものを作って、それをおもちゃ屋さんなどで製品化してもらって製品を販売し、木の原料代はその町に入っていくなどそういう新しい仕事を見出すなど、いろいろ考えていただくともっともっと盛り上がるかなと思いました。</p> <p>では資料3の全国みどりと花のフェアかつしかについてご説明をお願いします。</p> <p>議事(3) 全国みどりと花のフェアかつしかについて</p> <p>(資料3に基づき、説明した。)</p> <p>いろいろ企業・団体の方に協賛していただいているということでありありがとうございます。協賛だけでなく、地域の皆さんにボランティアとしていろいろ協力をしていただいているということで地域の皆さんも大変な日々を送っていると思います。</p> <p>今回の説明にはなかったかもしれませんが、各地域の花壇をお客さんたちが巡るようなことを企画しています。また、第10回の花壇コンクールをこの時期に行うということで、普段とは別に参加者の皆様が良いと思うものに投票できるようなことを考えております。</p> <p>メイン会場にフラワーメリーゴーランドが50個設置されるのですが、その設計なども緑化推進協力員がやらせていただくということで今頭を悩ませております。</p> <p>イベントはその時に来場者の方や地域の方に喜んでいただくのももちろんありますが、それをきっかけにみんながつながっていくこと、多くの方に花や緑など出合いのきっかけを感じていただく素晴らしい機会だと思いますのでうまくこれを活用して楽しんでいただければと思います。</p> <p>協賛の団体を大事にされた方がいいかなと思います。この資料を見てもどこが協賛の団体なのか入っていなかったのもう少し配慮したほうがよろしいかなと思います。チラシにも入っていないのはかなり問題ですので、そのあたりは考えたほうがいいかなと思います。協賛団体もボランティアでやっているわけではなくイメージアップやメリットを考えてやっているのですそれは応えたほうがいいかなと思いました。</p>
--	--

	<p>あと気になったのは東京理科大学とかなりタイアップしてやっていると思いますが、今日理科大の学生（委員）もいない、実行委員会の方もいない、どこまでうまくタイアップできているのかこのままでは不安があります。そのところの連携もきちんとするようにしていただければと思います。これに限ったことではなく、今日学生さんがいない、公募区民の方も1人しかいないという状況ですので、もう少し若い方だとか、地元の意見を聞くにはもう少し人を増やしてもいいのかなと思いました。とくに若い方の中でも実際ここで生まれて育っている方はこのまちを愛しており、その方がこのまちを担っていくことになるのでそういった方の希望というのは反映していくほうがいいだろうなと思います。</p> <p>あと、昨日別の会議でも全国レベルのイベントなのに住んでいる人がこのイベントを感じられないという意見がありました。やはり宣伝効果が遅いかなと思いますので、迅速に、早急にそのあたりを対応した方がいいと思います。モンチッチやキャプテン翼などいいコンテンツがたくさんあるので、ぜひ活用してあと2か月ですので頑張ってください。</p>
会長	<p>現在の準備状況などもう少し事務局からご説明いただければと思います。特に協賛団体の状況や理科大との連携状況、若い方の声を聴いているのか、今のPRの進行状況などをお願いします。</p>
事務局 (みどりと花のフェア担当課長)	<p>まず協賛団体の関係ですが、今協賛団体のポスターを作成しておりますので順次掲載できればと思います。ご指摘のとおり、チラシには入れられていなかったというのはございですが、今SNSの方でのPRと掲示物でもしっかりやっていたらと思います。当日お配りするリーフレットにもしっかり名称を載せる準備をしております。</p> <p>東京理科大学との情報共有ですが、学生さんご本人たちとはできていませんが、実行委員会には東京理科大学の関係者の方に入っていていただいております。今回のイベントにも東京理科大学自身も花の装飾をやっていただくことや、会場をお貸しいただいたりなど全面的にご協力をいただいている状況です。また、学生さんのサークルのご参加も含めてご協力いただけるという状況です。</p> <p>最後に周知のところですが、これからポスターをさらに掲示をしていくところは町会の掲示板、区の広報掲示板に出してまいります。それから協賛でいただいているお話として、各鉄道会社さんとかバス会社さんの方の駅や車内貼りなどに多くの部数を受け入れていただけるということになっています。そういった公共交通機関をはじめとした色々な場所にこれから掲示をしていく予定となっています。さらに、区民の方には知っていただくという面におきましては、広報4月25日号と5月5日号にそれぞれ掲載を予定しております。特に5月5日号は1面に掲載をして、大々的に盛り上げをするための準備をしております。</p>

	<p>ます。そういったところで周知をさらに進めていければと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>区民の方にもしっかり伝えていかなければというお話がありましたが、区民公募で入っていただいている方、何か一言いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>「全国みどりと花のフェアかつしか」ということで毎回活字では見ているのですが、全国版なんだということを改めて今日知った次第です。こんなすごいことを葛飾でやるのだということでもっと周知をしていただけると皆さん楽しみかなと思います。</p> <p>地元の細田で中野甘藍というキャベツの発祥地が葛飾だったというのでその小学生の子どもがそれに携わり、収穫だったり、給食だったりでそういうのに触れると感心が上がってくる。ここに参加する方々の小さなお子さんたちが触れることによって環境に意識をもってくれる子たちが育つという意味でもっともっと宣伝していただけると私も楽しみです、頑張ってくださいなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>チラシの配布ですが、小学生全員に1枚ずつでも渡してもらって家族に見てもらおう。子どもが持って帰ってきたものは家族は必ず見るから興味が湧くかなと思うのですが、チラシが今どれくらいあるかわかりませんが、あったらいいなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>全小学校、あるいは全小・中学校の児童・生徒さんに配り、親御さんにお渡ししてもらって家族で会場で楽しんでいただくという、それは最低限ご準備されていますよね？</p>
<p>事務局 (みどりと花のフェア担当課長)</p>	<p>印刷は、役所自前でできますので大量に刷って小・中学生の皆さんお一人1枚いくように、役所のイベントでもよく学校を通して配付いただくということはやっておりますので、同様にやっていければと思います。</p> <p>またタブレットでも児童・生徒に共有できますので、やり方は教育委員会と相談しますけども、皆さんのお手元には情報がいくようにやっていきたいと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>お子さんのおられない家庭というのも多いわけで、そういうところには町会の回覧板でぜひとも回していただきたいです。今、区では回覧板は回さないことにしていると聞いていますが、もうコロナもおさまってきているのでぜひとも復活させてほしいと思います。</p>
<p>事務局 (みどりと花のフェア担当課長)</p>	<p>確かに区から回覧の願いはコロナをきっかけにしていないというところではあるので、ご意見があったということは別部署ですがそろそろ再開してもということをお伝えしたいと思います。役所からは回覧の願いをできないとい</p>

委員	<p>うところではありますが、実行委員会としてお願いするなど、そういったルートで回覧ができないかということは考えていければと思います。</p> <p>補足ですが、例えばうちの博物館の展示イベントはある時から文京区ですがタブレットで小学校、中学校、高校へ配信することになったのですが、あれ見ないですね。結構そういう案内が来るので親にいくんですよ、特に小学校・中学校は、それをじゃあ子どもに伝えているかということ、いっぱい来てスルーしてしまっているんですよ。私は自分の身近の小学校・中学校だけは送って、タブレットで送っているはずんだけど見たことがないってみんな言うんですよ。だからやっぱり紙であるというのがちゃんと宣伝効果が高いというのはっておきます。ただタブレットの良いところは、安い。配信がほぼ無料でいくので、そのメリットはあります。ただ、それを目にする機会があるかということとやっぱり紙の方が効果は高いということはお伝えしておきます。</p>
会長	<p>高校生・大学生くらいの方だとSNSとかの情報の方がくるというのもありますので、大学生や高校生くらいの方をイメージした情報をSNSで出すなど、全体のバランスをうまくやっていただければと思います。</p>
委員	<p>資料やホームページを拝見するとすごくロゴマークがかわいくて、「サカセみらい」というフレーズもいいし、ぜひこの伝えたいメッセージを前面に出していただければなと思います。広報も役所でみんなやろうとすると苦しくなるので、横浜市さんと地域のNPOの方に委託しているんですね。そういうところですごく上手に地域に発信したりするので、ぜひ地域のプロを探してみんなに広報していただけるといいかなと思います。それから花菖蒲がすごくきれいな時期で、これって国外に向けてもの凄いインパクトのあるコンテンツだと思うんですね。花菖蒲があんまり前に出ていないので、そこを海外の人に伝えるだけでも相当違う気がします。空港に花菖蒲のチラシとかQRコード付きの物を置くとか、海外の方もみんな全部スマホで情報を得るので、何か1つポスターがあってそこにQRコードが付いていたりして、それが空港とか主要駅にあるだけでかなり見たがるのではないかなと思います。花菖蒲は日本らしい素晴らしい風景だと思うので、そこを売りにできるといいかなと思います。あと千葉大学も松戸で園芸学部の学生もたくさんいるので、QRコード付きのポスター1枚でも送ってもらえれば結構行く人もいるのではないかと思いますし、私も広報に協力したいと思います。</p>
会長	<p>事務局から何か一言ありますか？</p>
事務局 (みどりと花のフェア担当課長)	<p>いろいろなアイデアをいただきありがとうございます。予算に限りはありますが、なるべく少ない経費で高い効果が得られるように、いただいたアドバイスを基に広く周知できるようにやっていければと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>それでは資料4の「葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第4次）」改定版（案）についてご説明をお願いします。</p>
<p>事務局 （リサイクル清掃課長）</p>	<p>議事（4）「葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第4次）」改定版（案）について</p> <p>（資料4に基づき、説明した。）</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>パブリックコメントを実施して区民の方から意見をいただいたと、それに関して修正をすることとして、リチウムイオンバッテリーなどについてもう少し積極的に周知してほしいということに関して計画に入れましたという話がありました。</p> <p>パブリックコメントのご意見の中に、家庭ごみの有料化をするのであれば「深夜・早朝の収集を実施するなどして」と書いてくれています。これは東京23区全体で今後しっかり話し合っていかなければならない大問題ということで、これは継続した社会課題ということでみんなで話し合っていく大きなテーマとなっています。</p> <p>昨年の東京23区の区長会でその分野の方8人くらい集めて会議をやったのですが、私もそこに参加させていただきましたが、とにかく今東京23区は清掃工場の建替えを真剣に考える時期にきているということで、このあと10年くらい経ったら本格的に建替えあるいは修理をしていかなければいけない。でも、どんどん建設費が高くなっていますので、普通の金額ではなくなっています。ではやっぱりできるだけ23区に住んでいる方たちに一緒に考えてごみを減らしていただきながら、どういう風に建設計画をつくっていったらいいか。その排出量を想定しながら計画をつくっていくということがすごく大変ということで、ここから数年をかけてご担当の皆様は23区と相談しながらやっていかなければいけない、そういう中で色々な大事な施策のご提案が出たのですが、23区の事業者さんに対しては、例えば資源化できるのに清掃工場に持ってくる紙は受け付けないとか、あるいは清掃工場ですべてのごみを受け取る時の料金を倍にするとか、事業者向けの色々な案が出ているのですが、家庭に向けた家庭ごみの有料化施策というのもしっかり検討してほしいということで案が出てきています。やはりどこも少しずつごみを減らしていただいているのですが、まだまだできることはあるだろうということで、そういうことに関してもっと全員が本気になるような形で、そういう施策もあるということでしっかりと時間かけて話し合いたいということですが、私は逆に時間がかかるからこそ早くから話し合ったほうが良いという意見を申し上げてきました。</p> <p>こういった審議はまた別の審議会でしょうか？</p>

<p>事務局 (リサイクル清掃課長)</p>	<p>審議をしていただくとなるとこの審議会でご相談させていただくことになると思います。</p> <p>有料化につきましては、家庭ごみの有料化というところだけが大きくクローズアップされる場所ではあると思いますが、ごみの有料化というのはごみの減量の手段というふうを考えております。ごみを減量すれば、運搬をするトラックの数も減ってきますしCO₂の削減にもつながっていきます。家庭ごみの有料化自体は環境問題に直結している問題なんだということを皆さんにもご理解をいただきながら、導入するときにはそういうご説明をしながら進めていかなければならないと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。東京の多摩地域は既に10何年前に多くのところが実施しているのですが、23区は最終処分場があと50年と言われていて、まだどうにかなるのではないかとということがあって、ほとんどそういう議論は顕在化しなかったのですが、これだけの大都市であと50年しかもたないというのは大問題ですし、もう少し全ての人々が真剣になってくださるような施策をちゃんと考えていくという時期が数年後には来るのではないかと、それを考えて普段の暮らしから考えていただければ嬉しいかなと思います。</p> <p>一般廃棄物処理基本計画(第4次)改訂版には家庭ごみ有料化の話題は強調して入っているわけではありません、今後そういうこともこの分野では議論として私たちが期待されている分野なんだということを一言申し上げました。</p> <p>皆さん何かコメントある方はいらっしゃいますか。</p> <p>よろしいですね。今日議題として資料を用意していただいたものについてはご説明いただき、ご意見をいただきました。</p>
<p>委員</p>	<p>その他全体を通して</p> <p>全国みどりと花のフェアかつしかについてですが、以前この会議でフジバカマという植物の種を配りたいという話をしましたが、今のところ生物多様性推進協議会では袋詰めしていて、配りたいと思っています。1,000単位くらいでは配れると思いますので、興味があればぜひもらって庭などで育ててもらえるといいなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>協賛社に対してのアピールのやり方は考えたほうがいいのかと思いました。商工会議所や川をきれいにする会だとか、そういうようなグループに各企業が参加しているので、そこに声をかけて協賛会社に積極的に参加してもらえるようなアプローチの仕方を考えたほうがよろしいかと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>まず廃棄物関係の話で、努力していても分別も生ごみの中に紙とプラスチックがまだ混じっていて過去5年からあまり変わっていないとか、どう分別していいかわからない人もいるかもしれないので、今は生成AIとかカメラでやる</p>

<p>会長</p>	<p>だけで分別できるサービスを他の自治体で始めていたりしますが、あと処分場があと 50 年という問題があるとか、いろいろな現実の問題が皆さんに伝わるように示すというのが大事かと思いました。</p> <p>それから全国みどりと花のフェアかつしかのホームページを拝見しましたが、なんで葛飾区でやるのだろうかというのがもう少し伝わってもいいのかなと思いました。ChatGTPによると、江戸時代から水路と農地があって、そのような景観があったり、先行の公園整備、現在の都市緑化や農地保全の取組が連続して行われたことで葛飾の独自性が生まれているそうです。また、これもChatGTPによると、世界の都市で今ブルーグリーンインフラという考え方が注目されていて、葛飾区はそれに当てはまるような世界有数の都市なのではないかと。あとは住民の方の緑の取組が前からずっとつながっていて、それが今回のフェアの原動力になっているのではないかと思いました。そういったなんで葛飾区なのだろうかというのが、ホームページを見て計画とかを読み込むのは大変な中で区長の挨拶でも何で葛飾区でやるのだというのが一言で言えるような、過去の歴史、住民の活動がどう重なって今回のフェアにつながっているかというのが言えると、来る人からしてもだから葛飾区でやっているのかと、学生さんや若い人からしてもだからやっているのかと、区長の挨拶とかで入れて発言されるといいのかなと思いました。</p> <p>なんで葛飾区で全国みどりと花のフェアをやるのだというのが、それを地域の方がこの地域が自然環境が豊かなことと、それを守るために自分たちが一生懸命これまで活動してきたんだという、それが評価され、あるいはそれを発信するというを考えてこれをやるんだというあたりが、区民の皆さんのお気持ちとこの行事がつながるような感じで、しっかりと伝わるというのではないかと、すごく今のお話は大事なポイントだと思いますので担当の皆さんだけでなく事務局をやってくださっている皆さんと一緒に盛り上げていただければありがたいと思います。</p> <p><u>3 閉会</u></p>
-----------	---